

米国サウスカロライナ州ビジネス環境視察ミッションスケジュール(予定)

※スケジュールは9月22日時点のものです。今後変更になる可能性があります。

ジェットロ・アトランタ事務所 作成

日	曜日	訪問地	時	スケジュール	朝	昼	夕
2025/11/16	日	サウス カロライナ州 コロンビア (東部時間)					
			午後	サウスカロライナ州コロンビア着(交通手段は各自手配)			
				ホテルチェックイン、各自夕食 推奨ホテル:参加者に後日連絡	-	-	-
2025/11/17	月	サウス カロライナ州 コロンビア (東部時間)	8:40	推奨ホテルロビー集合、借り上げバスにて移動			
			9:00	サウスカロライナ州自動車産業概要			
			10:00	スカウトモーターズ(コロンビアコネクション)			
				ランチミーティング	×	○	○
			15:00	企業訪問			
			17:00	レセプション			
				レセプション終了後、推奨ホテルへ移動、解散			
2025/11/18	火	サウス カロライナ州 チャールストン (東部時間)	7:30	推奨ホテルロビー集合、借り上げバスにてチャールストンへ移動			
			10:00	チャールストン港視察			
				ランチミーティング	×	○	×
			13:00- 17:00	企業訪問 ロバート・ボッシュなど2社程度を予定			
				訪問終了後、推奨ホテルへ移動、解散			
2025/11/19	水	サウス カロライナ州 グリーンビル (東部時間)	7:30	推奨ホテルロビー集合、借り上げバスにてグリーンビルへ移動			
			9:30	グリア・インランドポート視察			
				ランチミーティング	×	○	-
			13:30	クレムソン大学国際自動車研究センター(CU-ICAR)訪問			
			15:30	国際交通イノベーションセンター(ITIC)訪問			
				訪問終了後、推奨ホテルへ移動し解散、ミッション終了			

訪問・面談先概要

[スカウトモーターズ](#)

ドイツ自動車大手フォルクスワーゲン（VW）傘下の電気自動車（EV）メーカー。VWが北米のピックアップトラックEV市場への参入のために立ち上げた米国法人。サウスカロライナ州コロンビア近郊ブライスウッドに20億ドルを投じて同社初の製造施設を建設中。2024年2月起工、2026年末までに生産開始予定。コロンビアには、同工場建設の進捗状況などを展示する「コロンビア・コネクションセンター」を設置。
1960～1980年代に生産されていた米国車ブランド「スカウト」をほうふつとさせるデザインの次世代ピックアップトラック「テラ・トラック（Terra Truck）」とスポーツ用多目的車（SUV）「トラベラーSUV（Traveler SUV）」を生産予定。最大4,000人の雇用を創出予定で、ピーク時の生産能力は年間20万台を予定。

[チャールストン港](#)

サウスカロライナ州の主要港。貨物取扱量全米7位（2022年）、取扱貨物金額（ドルベース）全米8位（2022年）。米国東海岸で最も深い水深52フィート（約16メートル）の港を備え、大型船舶に対応。6ターミナル（コンテナ3、ばら積み1、バルク／RORO2）とクルーズ船用旅客ターミナルを備える。同州内の2つのインランドポート（内陸港）との間を鉄道が結ぶ。
同港およびインランドポートを所有・運営するサウスカロライナ州港務局は、2024年度に2億9,600万ドルの戦略的投資を行うなど、鉄道インフラの拡充と複合輸送ネットワークの強化に取り組んでいる。

[ロバート・ボッシュ](#)

自動車部品サプライヤー大手の一つ。1974年開設のチャールストン工場は米国におけるボッシュ最大の製造拠点。従業員数約1,500名。ガソリン燃料噴射システム、ESP/ABSブレーキシステム、電動モーターを製造。高度に自動化された生産プロセスを採用し、AI（人工知能）とインダストリー4.0の手法を活用して効率性向上に注力している。

[グリア・インランドポート](#)

サウスカロライナ州港務局が所有・運営する内陸港の一つ。2013年11月開設。サウスカロライナ州グリアの州間高速道路85号線沿いに位置し、チャールストンから内陸に212マイル（約341キロメートル）、アトランタとシャーロットのほぼ中間に位置する。ノーフォーク・サザン鉄道の専用列車がチャールストン港とグリア・インランドポート間の夜間サービスを週6日提供。2025年3月、5,500万ドル規模の拡張プロジェクトを完了。拡張により、年30万個のコンテナ取扱いが可能となった。

[クレムソン大学国際自動車研究センター（CU-ICAR）](#)

次世代自動車の開発に関わる技術者を育成する教育研究機関。ミシュラン、BMW、ティムケンなどの自動車関連企業とサウスカロライナ州政府の提携により、2007年、同州北西部グリーンビルに設立。
「教育」「研究」「経済開発」の3つをつなげる役割を担い、次世代の自動車エンジニアの育成に加え、企業との革新的研究を通じて最先端技術の開発に取り組む。人工知能（AI）を活用したパワートレイン制御や電動化パワートレインの設計といった高度な車両推進システム、先端製造・材料、コネクテッドおよび自動運転車両などを注力分野とする。
250エーカー（約1平方キロメートル）のキャンパスでは、ジェイテクトを含め21社（2025年7月時点）がキャンパスパートナーとなっており、企業と連携してエンジニアの人材育成や共同研究に取り組んでいる。
米国初の自動車工学の学部および大学院プログラムの中心でもあり、卒業生の97%はモビリティ業界に就職している。

[国際交通イノベーションセンター（ITIC）](#)

サウスカロライナ州グリーンビルのSC・テクノロジー＆航空センター（SCTAC）に本社を構える同州最大の自動車試験場。400エーカー（約1.6平方キロメートル）の敷地に、ADAS技術、車両動力学、車線変更、ステアリングなど多様なテストに対応可能な1マイル（約1.6キロメートル）の直線コース、道路上のバンプや溝などを再現した1,700フィート（約520メートル）の耐久性コース、1,000フィート（約305メートル）のアスファルトブレーキレイントラック、3マイル（約4.8キロメートル）のテスト用オーバルトラックなどを備える。